

三心を磨く

学校だより NO. 20
平成30年 7月 4日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇人権教育月間に取り組みました！～各学年の取組◇◇

本校では6月・11月にそれぞれ「人権教育月間」を位置づけ、全学年で取り組んでいます。6月の「前期人権教育月間」は、「6月1日(金)～7月4日(水)」までを実施期間とし、各学年の計画に沿って学習を展開しています。詳しくは以下のとおりです。

◇前期人権月間 指導方針

前期では特に学級集団や学年集団での人間関係について考え、身近な人権侵害について自らの問題としてとらえられる人権感覚の育成をめざす。

内容については、各学年の実情、実態に合わせ、計画を進める。

- ① 身近な生活の中にある偏見や差別に気づき、自らが差別する立場にあることを自覚し、人権侵害に対する正しい認識と判断力をもつ。
- ② 人権侵害を受ける側の立場に立って考え、心の痛みがわかり、共に励まし合って学習や生活を向上させるよう行動できる好ましい仲間づくりを目指す。

◇学年目標

- 1年 自他の違いを認識し、互いに人として尊重し、自分も他人も好きになる仲間づくりをしていく中で、明るい人間関係をつくる。
- 2年 身のまわりにあるいじめや差別に気づき、自分の問題としてとらえ、よりよい生き方をもとめるとともに、問題解決をしていこうとする。
- 3年 最高学年を迎え、最後の中学校生活を互いに居心地よく送れるように、身近な人権について見直し、より広い視野に立って社会を見つめ直し、今回の学習を通して、自分の心の中の「差別」や「人権侵害」に気づき、高い人権感覚を備えた自分へと「自己変革」を果たす機会とする。

◇推進計画

- 事前に必要に応じて…いじめについてのアンケート・学校生活を振り返っての実態調査
- 6月13日(水)校長講話「リフレーミング～考え方の転換～」：人権教育かかわって

各学年の授業実践計画

	予定日	主な活動と資料及び準備		
		1年	2年	3年
1時	6月 8日(金) 時間目 道徳	「あかね雲」	「ママ、私の手はいくら洗っても…」	「となりのせきのますだくん」
2時	6月14日(水) 時間目 道徳	「何がいじめなの？」	ハンセン病患者に対する差別	誇り高き民族
参観日	6月18日(月)	・PTA講演会「震災を経験して」 ・学年PTAにて「ワークショップ」		
3時	6月20日(水) 時間目 道徳	「短所は…わたしを大切にすること」	アクティビティ「新しい大陸に向けた航海」	クラス(私)の人権宣言
4時	7月 4日(水) 時間目 道徳	まとめ 人権にかかわる標語	まとめ 人権にかかわる標語	まとめ 人権にかかわる標語

◇その他の取組として

- ・須坂市人権同和教育課からの依頼で人権に関わる標語づくり8学級、ポスター制作(美術科)
(標語は、前期人権教育のまとめで作った作品を、全生徒が提出する)
- ・6月18日(月)の参観日の学年PTAにおいて「ワークショップ」を行いました。

◇◇校長講話「リフレーミング～考え方の転換～」を終えて◇◇

6月13日(水)人権週間によせて、学校長より講話(学校だより No.15)が行われました。

学校長からは、今回の講話において「リフレーミング～考え方の転換～」と題して、「事実に対して与えている意味づけを変え、異なる見方でとらえ直すことの大切さ」についての話がありました。

以下は校長講話後、生徒たちが書いた感想の中から、抜粋したものです。お読みください。

○考え方を少し変えてみるだけで、これまでマイナスに感じていた気持ちからプラスの気持ちに変わることを知りました。自分の見方をマイナスだけでなく、プラスの見方にして生活したいです。

○校長先生のお話で、イヤだと思ふことをポジティブに考えること、これを「リフレーミング」ということを知りました。「ケガをして、試合に出られないでよかった」について、「応援する人の気持ちがわかってよかった」と考えるってことが、とてもよくて、心に残りました。

○見方や考え方を変わると、よいとらえ方になったり、悪いとらえ方になったりするんだなと感じました。

1つのことでも、よい見方や考え方をすると前向きになれます。

○校長先生は、自分の考えをポジティブにとらえることについて話してくださいました。私は、一人ひとりの考え方は違うので、人の意見を否定せずには聴く。そして、その意見を前向きに考えたいなと思いました。

○自分のマイナス的な見方や考え方を、プラス的な見方や考え方にするのは結構難しいと思うけど、それが自分のためや人のためになるから頑張ってそういう見方や考え方に変わる努力をしたい。

○ものの見方って1つじゃないってことを校長先生のお話で知りました。今度からは、1つの見方ではなく、他の見方もしながらいろいろな考え方を探したいです。

◇「人生よかったカルタ」を実施～3年1組学級PTA～◇

18日(月)、参観日の際の学級PTAにおいて、3年1組では「人生よかったカルタ」を実際に使って人権学習を行いました。

これまでの自分の見方や考え方で事象をみるのではなく、考え方を転換させる「リフレーミング」を使っての話し合いは、保護者の皆さんにとってもなかなか新鮮な感覚であり、好評でした。保護者の皆さんの声としては「こんなように考えたことはなかったなあ」「見方を変えると感じ方も変わってくる」「こういう考え方や見方をすればやさしい気持ちになれる」「視野が広がった感じがする」といったお話がありました。「人生よかったカルタ」、ご自宅でもどうですか!!

私たちは、自分の見方が考え方がよい・正しいように思いがちです。しかし、人それぞれの見方や考え方があり、それらは必ずしも同じではありません。物事をマイナス的・悲観的にとらえるのではなく、よりよくとらえたりプラス思考にとらえたりすることも大切なのですね。そんな目でものをみたり考えたりできたのなら、相手のよさがさらに多くみられるに違いありません。

6月の人権月間、そんな視点に気づくことができた校長講話となりました。

